

平塚市自殺対策計画における12事業 進捗・評価一覧(令和7年12月末時点)

順調に進捗
若干遅れている
遅れている
—
=目標値の90%以上
=目標値の70以上90%未満
=目標値の70%未満
=当該年度において測定できない
もの

順調に進捗
若干遅れている
遅れている
—
=目標値の90%以上
=目標値の70以上90%未満
=目標値の70%未満
=当該年度において測定できない
もの

番号	リーディングプランの事業番号	事業名 (リーディングプラン別掲載頁)	担当課	活動指標 (どのような取組をどれくらい行うのか等の事業活動の内容や量を示し、 事業ごとの進捗管理 を行う)	単位	実績値・進捗状況					目標値	実績値・進捗状況	目標値	成果指標 (事業を行った結果、どのような効果をどれだけ上げることができるのか等の成果を示し、 施策ごとの評価 を行う)	単位	実績値・進捗状況					目標値	実績値・進捗状況	目標値	施策の推進に向けた主な成果	施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」					
						R6年度		R7年度		R8年度						R8年度	R9年度	R10年度	計画	R6年度							R7年度		R8年度	R9年度	R10年度
						実績値	実績値	進捗状況	実績値	実績値						実績値	実績値	進捗状況	実績値	実績値							進捗状況	実績値	実績値	実績値	実績値
1	1-(1)-⑧	★ゲートキーパーの積極的養成 (P.7)	福祉総務課	ゲートキーパー養成者数(累計)	人	3874	4187	4393	順調に進捗	-	4600	-	-	5000	ゲートキーパーの養成者数(累計)	人	3,874	4187	4393	順調に進捗	-	4,600	-	-	5,000	ゲートキーパー研修を実施し、自殺の可能性の高い人に気づき、適切な支援に繋げられるようにした。 【実施済み R7年12月末時点】計206人 ①新採用職員等 51人 ②民生委員児童委員(花水地区) 28人 ③神奈川県労働安全衛生協会平塚支部会員 66人 ④福祉事務所実習生(夏) 2人 ⑤ケアマネジャー(地域包括支援センター倉田会主催研修) 23人 ⑥精神保健福祉ボランティア講座受講者(こんべいとう主催) 19人 ⑥福祉系専門学校学生 17人 【実施予定】 ・庁内自殺対策担当者(JSCP e-learning) ・福祉事務所実習生(春)	定型の研修内容では、受講者のニーズに対応しきれず、積極的な受講をこちらから勧めづらい。一方、研修内容を受講者に合わせて変化させると、講師となる職員の負担が大きくなり、件数を増やせない。	ゲートキーパーを身近で役に立つと感じてもらえるような周知の工夫をすることにより、受講者を増やす。			
2	1-(2)-⑩	自死遺族等への支援の推進 (P.16)	福祉総務課	わかちあいの会 実施回数	回	6	6	6	順調に進捗	-	6	-	-	6	自死遺族の集い参加後、前向きな感想を得られた割合	%	94	85	97	順調に進捗	-	94	-	-	94	「わかちあいの会(自死遺族の集い)」を開催することにより、自死遺族等が安心して自分の気持ちを語り、分かち合うための環境づくりを行った。また、ゲートキーパー養成研修や庁内研修等で、自死遺族等についての理解を深めた。 【開催日・参加者数 R7年12月末時点】 R7年4月15日 6人 R7年6月 3日 6人 R7年8月 5日 6人 R7年10月7日 8人 R7年12月2日 6人 【開催予定】 R8年2月3日	わかちあいの会のファシリテーター役を担える自死遺族の人材確保。	わかちあいの会の運営スタッフである遺族や県の職員等とともに、安定したファシリテーターの体制づくりについて検討していく。			
3	1-(2)-⑪	★生き方・命の大切さを学ぶ機会の提供 (P.17)	福祉総務課	中学生を対象とした講演会 実施校	校	3	5	4 (残り1校はR8年3月に実施予定)		-	5	-	-	5	生き方・命の大切さを学ぶ講演会の受講後、「前向きな気持ちになれた」と回答した生徒の割合	%	-	84	88	順調に進捗	-	65	-	-	70	中学生を対象とした講演会を実施することにより、中学生が自尊心を大切に、困難等に直面した時の対処法を身に付けられる機会を提供した。この講演会でSOSの出し方を学んだ生徒が、先生に相談した際に、受け止めてもらえたと感じられるように、同じ講師が事業No.11の教頭向け研修会でSOSの受け止め方について研修することで、内容を連動させた。 【実施済み R7年12月末時点】 講演内容:「思春期のストレスを乗り越えるために」 講師:ツイバルト千佳氏(公認心理師、臨床心理士) 受講者:各校ともに全学年生徒 ①大住中 R7年11月11日 ②中原中 R7年11月13日 ③大野中 R7年12月3日 ④江陽中 R7年12月4日 【実施予定】 ⑤神明中 R8年3月2日予定	特になし。				
4	1-(2)-⑫	★「SOSの出し方に関する教育」の推進 (P.17)	教育指導課	小中学校の授業等での実施率	%	100	100	100	順調に進捗	-	100	-	-	100	(成果目標の設定は無し)												各校において発達段階を踏まえた「SOSの出し方に関する教育」を実施することにより、児童生徒や児童生徒に関わる教職員に本事業の取組を促すことができた。	「SOSの出し方に関する教育」を進めるにあたり、学校によっては、児童生徒への周知の機会が限られている。	学級活動や保健体育(保健分野)の学習の際や相談窓口を配付する際等、様々な機会を捉え、本事業の周知を図る等、取組を推進する。		
5	1-(3)-⑥	読書活動を通じた自殺対策の推進 (P.23)	福祉総務課	「命の大切さ、尊さ」をテーマとした読み聞かせを実施した中学校区の割合	%	80	33	0	遅れている	-	90	-	-	100	「命の大切さ、尊さ」をテーマとした読み聞かせを実施した中学校区の割合	%	80	33	0	遅れている	-	90	-	-	100	次の地域活動団体等に対し、こころと命のサポート事業(読書活動を通じた自殺対策の推進)の説明、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用について働きかけることで、「命の大切さ、尊さ」を学ぶ機会を提供した。 ・各小中学校司書教諭(司書教諭打ち合わせ会)年1回 ・各小中学校学校司書(学校司書説明会)年1回 【実施予定】 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議 年1回 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 R7年12月末時点で実施報告 無し	読書活動を推進する主体は、各小中学校、各中学校区子ども読書活動推進協議会であるため、福祉総務課が読書活動自体を推進することは難しい。	引き続き、地域活動団体等に対し、事業説明、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用について働きかけることで、「命の大切さ、尊さ」を学ぶ機会を提供を継続する。			
6	2-(1)-⑩	事例検討を通じたネットワーク体制の強化 (P.32)	福祉総務課	事例検討会の実施	-	実施	実施	未実施	遅れている	-	実施	-	-	実施	事例検討を通じて、適切な対処について理解が深まった人の割合	%	100	100	未実施	遅れている	-	100	-	-	100	事例検討会の実施することで、一定以上の技量を備えた対応ができるようにし、関係各課の連携、情報共有を推進します。 【実施予定】 R8年3月 講師:調整中 受講者:平塚市自殺対策担当者等	対処法を身に着けることが現時点での目標になっており、平塚市自殺対策会議、平塚市自殺対策庁内会議、平塚市自殺対策担当者会議の相互連携・協働の充実についてはまだ十分とは言えない。	各機関の役割の確認等をし、事例をもとにどのように各機関の体制を生かして協力していくか検討することでネットワーク体制の強化を図る。			

